

2009年6月25日

運動もしていないのに手に汗・・・「手掌多汗症」

多くの手掌多汗症は、手掌の交感神経の信号が非常に強いことが原因でおこります。交感神経は自律神経なので、自分の意思でコントロールすることはできませんので、根本治療でもある「胸腔鏡下交感神経焼灼術」（きょうくうきょうかこうかんしんけいしょうしゃくじゅつ）を行っています。

しかし、ひとつ問題があって、代償性発汗という副作用が発生する可能性があります。代償性発汗とは、手のひらや足の裏からの発汗を抑えたかわりに、他の場所からの発汗が増加することです

中医学では自律神経の調整を行う方法で対応しています。

代表的な方法として、桂枝加竜骨牡蠣湯（けいしかりゅうこつぼれいとう）や柴胡加竜骨牡蠣湯（さいこかりゅうこつぼれいとう）・女性では女神散（によしんさん）なども使います。

ツボでは、上星・神門・労宮などを使います。

漢方薬

- ・桂枝加竜骨牡蠣湯（けいしかりゅうこつぼれいとう）⇒神経の高ぶりをしずめ、気力をつけることで心の状態を改善
- ・柴胡加竜骨牡蠣湯（さいこかりゅうこつぼれいとう）⇒ 神経の高ぶりをしずめて、心と体の状態を改善
- ・女神散（によしんさん）⇒ 血行と水分循環を改善し、また、気めぐりをよくして神経の不調を改善

ツボの位置

- ・上星 ⇒ 額の中央の毛の生え際から上に向かって指1本
- ・神門 ⇒ 手のひらの小指側下にある小さい骨の横
- ・労宮 ⇒ 手のひらの中央

